

# 第42回

# 医学教育セミナーとワークショップ in 千葉

## 開催要項・参加者募集

医学教育開発研究センターは、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。次回の第42回医学教育セミナーとワークショップは、千葉大学大学医学部医学教育研究室・同附属病院総合医療教育研修センターとの共催で開催いたしますので奮ってご参加下さい。

千葉大学 医学教育研究室 田邊政裕  
 岐阜大学 医学教育開発研究センター 鈴木康之

**日程 2011年11月19日(土)・20日(日)**

**会場 千葉大学亥鼻キャンパス(看護学部棟)**



**WS-1 アウトカム基盤型教育プログラムの構築**

企画：田邊政裕、伊藤彰一（千葉大）

**WS-2 専門職連携教育**

企画：朝比奈真由美、前田 崇（千葉大）

**WS-3 プロフェッショナリズム教育**

企画：日本医学教育学会 倫理プロフェッショナリズム委員会

**WS-4 学生の心をつかむ準備教育・教養教育**

企画：日本医学教育学会 準備教育・行動科学教育委員会

**WS-5 SP大交流会**

企画：藤崎和彦（MEDC）、伊東こずえ（九州大）

**WS-6 SP大勉強会：イリノイ大学のSPトレーニングWS報告とフィードバックの実践**

企画：朝比奈真由美、臼井いづみ（千葉大）、阿部恵子（名古屋大）

**Seminar：医学教育が求める社会学とは何か？** 勝又正直（名古屋市立大）

2011  
秋

19日(土)	AM	WS-1				
	PM	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4	WS-5
	夕	セミナー				
	夜	懇親会				
20日(日)	AM	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4	WS-6

医学教育共同利用拠点：岐阜大学 医学教育開発研究センター

詳細・申込み：<http://www1.gifu-u.ac.jp/~medc>



〒501-1194 岐阜市柳戸1-1 medc@gifu-u.ac.jp  
 TEL: 058-230-6470 FAX: 058-230-6468

## WS-1 アウトカム基盤型教育プログラムの構築

日時： 2011年11月19日(土)10:00~17:00、20日(日)9:00~13:00

企画： 田邊政裕、伊藤彰一(千葉大学)

タスクフォース： 鈴木康之、吉村仁志(MEDC)

概要： 学習アウトカムを明確にして、それを確実に達成する教育(Outcome-based education, OBE)が我が国の医学教育にも求められるようになってきました。教育の質を担保し、今日的な社会ニーズに応えられる医師の育成が喫緊の課題であり、従来のタキソノミーに基づく伝統的医学教育からOBEへパラダイムシフトすべき状況です。本ワークショップではOBEに基づくカリキュラムを参加者全員で作成することにより、OBEについての理解を深め、その普及を図りたいと思います。

対象： 教員、指導医、学生、研修医など

定員： 30名



## WS-2 専門職連携教育

日時： 2011年11月19日(土)13:00~17:00、20日(日)9:00~13:00

企画： 朝比奈真由美、前田崇(千葉大学IPE推進委員会)

タスクフォース： 石井伊都子、酒井郁子、宮崎美砂子、中村伸枝、関根祐子、増田和司、小河祥子、高橋平徳(千葉大学IPE推進委員会)

概要： 専門職連携教育(IPE)は、医療現場で質の高い医療、医療安全等に不可欠な専門職連携(IPW)を行う能力を向上させるための教育です。近年、様々な医療・福祉系の大学でIPEが取り入れられていますが、その内容はさまざまです。今回のワークショップでは、千葉大学の4年間のプログラムを紹介するとともに、4年次の授業を実際に体験していただき、これからのIPE・IPWについて参加者の活発な討論を期待しています。

対象： 専門職連携教育に興味のある専門職(医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床心理士、遺伝カウンセラー、ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ケアマネージャーなど)およびそれらの学生

定員： 30名(職種別に大まかに定員を設定し、2日間通して参加できる方を優先します)

## WS-3 プロフェッショナリズム教育

日時： 2011年11月19日(土)13:00~17:00、20日(日)9:00~13:00

企画： 日本医学教育学会 倫理プロフェッショナリズム委員会

宮田靖志(北海道大学)、野村英樹(金沢大学)、大生定義(立教大学)

後藤英司(横浜市立大学)、岸本寛史(京都大学)

概要： 医療におけるプロフェッショナリズムに大きな関心が寄せられるようになってきていますが、これを実際にどのように教育するのかについては試行錯誤の状況が続いています。本ワークショップでは、①プロフェッショナリズム教育のために必要な認知的基盤の共有、②共感やヒューマンリティの涵養につながるナラティブ能力教育の実際、③その他の具体的教育法の紹介、を行った後、④自施設で実施できるプロフェッショナリズム教育の具体案、について議論します。

オープニングとエンディングはワークショップ4と共同開催し、準備教育・教養教育におけるプロフェッショナリズム教育の可能性について示唆を得るようにします。

対象： 医療系教員、指導医、看護師、学生、研修医など、プロフェッショナリズム教育に関心のある方

定員： 30名



## WS-4 学生の心をつかむ準備教育・教養教育：

～市民ガバナンスの時代に生きる医療人育成に向けた社会学，人類学，行動科学の教育を考える～

日時： 2011年11月19日(土)13:00～17:00、20日(日)9:00～13:00

企画： 日本医学教育学会 準備教育・行動科学教育委員会

中村千賀子(新生会)、星野晋(山口大学)、沖田一彦(県立広島大学)、樫田美雄(徳島大学)  
道信良子(札幌医科大学)、三原祥子(東京女子医科大学)、若林英樹(MEDC)

概要： 今日、少子高齢化や疾病構造の変化等により、多職種連携を前提とする「暮らしの現場」の医療の重要性が増大するなど日本の医療環境は転換期にある。この激変する時代状況に生涯にわたって柔軟に対応しつづけられる医療専門職を養成する上で、準備教育や教養教育、とりわけ社会学や人類学などの社会科学がどのような視点や方法をどのような教育スタイル、教材で提供できるかについて検討したい。

対象： 準備教育・教養教育担当者、人文・社会学者、その他医療専門職の養成に関心のある方

定員： 30名

## WS-5 SP大交流会



日時： 2011年11月19日(土)13:00～17:00

企画： 藤崎和彦(MEDC)、伊東こずえ(九州大学)

概要： MEDC主催で岐阜、徳島、東京、札幌、広島と模擬患者大交流勉強会が行なわれてきました。今回は久しぶりに首都圏に戻って千葉の地で開催されます。医学、歯学、薬学だけでなく、SP参加型医療コミュニケーション教育は看護はもとより作業療法、理学療法、鍼灸士教育などにもさらに拡大を続けています。例年以上にパワーアップした交流会での経験交流も実現したいと思っています。全国の皆さん、是非、千葉にお集まりください。

対象： 模擬患者参加型教育にかかわる模擬患者、教員、指導者、学生、研修医、医療スタッフ

定員： 50名

## WS-6 SP大勉強会：イリノイ大学のSPトレーニングWS報告とフィードバックの実践

日時： 2011年11月20日(日)9:00～13:00

企画： 朝比奈真由美、臼井いづみ(千葉大学)、阿部恵子(名古屋大学)

概要： 千葉大学ではシミュレーション教育の向上を目的としてイリノイ大学シカゴ校でSPとSP養成教員が参加してSPトレーニングWSを行いました。今回のWSでは、SPトレーニングWSの概要を紹介するとともに、研修成果の一つである新たなフィードバック方法の実践例を提示し、フィードバックについての学習を深めていきます。

対象： 模擬患者(SP)、SP養成教員、学生、その他

定員： 30名

## Seminar：医学教育が求める社会学とは何か？



講師： 勝又正直(名古屋市立大学看護学部社会学教授)

日時： 2011年11月19日(土)17:15～18:15

概要： 患者を治したい医療者と、医療者を研究する医療社会学者とでは、関心がずれる。医学教育が求める社会学とは何か。それを知るには、病人の問題を診断する「看護診断」が役にたつ。看護診断が導入した社会学は、自己概念、役割論、家族論、地域論、自殺論などである。これらは一見、オーソドックスな社会学のように見えるが、医学教育の要求に応えるには、これまでの表面的でイデオロギ的な内容を大幅に刷新しなくてはならない。

# 参加登録方法

- 事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。  
「MEDC」で簡単検索できます

第42回医学教育セミナーとワークショップのページ

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/seminarworkshop/2011/42th/index.html>

**締め切り：2011年11月4日(金)**

- ※ ホームページからお申し込みできない方は、FAX(058-230-6468)でご連絡ください。
- ※ 会場の都合で、各ワークショップに定員を設けております。  
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承下さい。

参加費：2,000円(資料代) 学部学生無料

懇親会費：別途徴収いたします

受付時に徴収いたします。

資料代は、資料作成ならびに報告書「新しい医学教育の流れ」の作成の一部に使用いたします。

参加者には後日、報告書を送付いたします。(学部学生は報告書の送付は含まれません)

会場：千葉大学 亥鼻キャンパス  
看護学部棟



JR総武線

東京 — 千葉 快速 40分

品川 — 千葉 快速 50分

JR千葉駅⑦番バス乗り場

京成バス 15分

千葉大学医学部入口下車